

平成 20 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 全 日 本 空 輸 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 元 峯 生
(コード番号 9202 東証・大証各第 1 部)
問 合 せ 先 総 務 部 長 久 松 完
(TEL . 03-6735-1001)

航空機部品売却にともなう特別損失の計上について

当社は、平成 20 年 3 月 27 日開催の取締役会において、保有航空機部品の在庫量の最適化を図り、回転率を向上させるため、下記のとおり、航空機部品を売却することを決議いたしました。これにともない、平成 20 年 3 月期決算において、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 売却資産の内容

当社フリート戦略に基づき、既に退役済みの機材（ボーイング 747 型機・エアバス A321 型機）の全部品及び今後退役予定の機材（ボーイング 747-400 型機・エアバス A320 型機）の余剰部品等

2. 売却の日程

平成 20 年 3 月 27 日 : 取締役会において当該部品の売却を決議

平成 20 年 3 月 31 日（予定） : 当該部品売却

3. 売却の相手先

Aero Inventory plc.（英国法人）

AAR Aircraft & Turbine Center（米国法人）

Royal Bleu Aero Limited（英国法人） 他 10 社

4. 当社の業績に与える影響

本件にともない、平成 20 年 3 月期決算において、約 106 億円の特別損失を計上見込みです。なお、当該特別損失は、平成 19 年 4 月 27 日公表の平成 20 年 3 月期業績予想に織り込み済みであり、本件にともなう平成 20 年 3 月期業績予想数値の変更は、連結・個別ともございません。

以上